

令和4年5月27日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会副議長 藤本 善男  
島田市議会議員 天野 弘  
島田市議会議員 石川 晋太郎  
島田市議会議員 曾根 達裕  
島田市議会議員 平松 吉祝  
島田市議会議員 森 伸一  
島田市議会議員 四ツ谷 恵

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和4年5月21日（土）  
午後7時00分～午後8時30分
- 2 会場 島田市役所（会議棟 大会議室）
- 3 参加者数 19人（男性 19人、女性 0人）
- 4 役割
  - (1) 受付 平松・四ツ谷
  - (2) 司会 藤本
  - (3) 挨拶（概要） 藤本
  - (4) 報告 厚生教育常任委員会等 森  
経済建設常任委員会等 天野  
総務生活常任委員会等 曾根
  - (5) 答弁 全員
  - (6) 記録 石川

## 5 報告事項

### (1) 議会活動の動向の市民への報告について

#### ① 厚生教育

- ・ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業について
- ・病児及び病後児保育事業について
- ・就労準備支援事業について
- ・家庭児童相談室運営事業について
- ・ちびっこ広場の遊具の修理・撤去に要する費用について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業について
- ・小学校及び中学校通学区調査審議会設置について
- ・島田第一小学校新校舎完成予想図について
- ・令和4年度島田市国民健康保険事業特別会計予算における保険料について
- ・令和4年度島田市後期高齢者医療事業特別会計予算における保険料について
- ・令和4年度島田市介護保険事業特別会計における介護予防ケアマネジメント・居場所づくり事業について
- ・病院事業について

#### ② 経済建設

- ・がんばる認定農業者支援事業について
- ・森林環境整備促進事業について
- ・リノベーションまちづくり推進事業について
- ・島田市観光協会補助金について
- ・狭あい道路拡幅整備事業について
- ・新型コロナウイルス感染症関連の交付金・補助金について
- ・島田市東海道金谷宿お休み処条例を廃止する条例について
- ・島田市特定用途制限地域内における建築物の制限に関する条例について
- ・島田市都市計画川越し街道周辺地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例について

#### ③ 総務生活

- ・地域公共交通計画策定事業について
- ・移住定住促進事業について
- ・デジタル変革推進事業について
- ・空港周辺プロジェクト推進事業について
- ・ふるさと寄付金推進事業について
- ・島田市行政組織条例の一部を改正する条例について、
- ・請願1号「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」について

#### ④ 報告に対する質疑

- ・ Q 島田市博物館について以下のご意見を承る。①リニューアルされることだが、見るだけでなく、体感型の施設づくりを。②蓬莱橋・KADODE OOIGAWA・JR 島田駅等、様々な観光地（拠点）を公共交通等で結ぶことにより、活性化が図れる。また公共交通には車などではなく、人力車や馬車などゆっくりと時間が流れるイメージを持たせると面白い。

A 市としては、文化財を稼ぐ力としても利用していく方針だ。リニューアルされる博物館は、おっしゃるように、楽しめる展示物等になるよう、担当部署に伝える。

現在島田市では、レンタルサイクルを行っている。今、計画している川越遺跡の活用と合わせて検討していきたい。

- ・ Q 島田市観光協会が法人化されたが、今後、市としてはどの様に関わりを持っていくか？またこれまでの（観光等に対する）発信の仕方には疑問を感じる。もっと中心市街部へ人を呼び込む手法を期待する。

A 島田市観光協会は一般社団法人となり、今後 DMO を目指していく。魅力ある商品等の開発をはじめ、稼げる観光を目指して取り組んでいく。また、中心市街地に関しては、空き家のリノベーションに力をいれることで、若い人達の活力を生み出す場としていきたい。

（中心部へ人を呼び込むことに関連して）島田大祭（帯まつり）や大井川蓮台越しに関しては、長い歴史があるため、伝統を大事にしていきたい。しっかりとした予算づけをはじめ働きかけを続けていく。

従来の産業観光部を産業経済部と観光文化部に組織再編し、観光に力を入れていく体制を整えた。

- ・ Q 島田市観光協会が法人化されたが、市からの補助金に関しては今後どうなっていくのか？

A 将来的には補助金に頼らない自走式を目指すことが趣旨ではあるが、当面の間は支援をしていく方向である。

- ・ Q 中心市街地に若者が少ない。若者を呼び込む施策を。

A ご意見として承る。

- ・ Q DX と観光について以下のご意見を承る。①行政 DX に関して、ペーパーレス・情報の一元管理・自治会における DX 推進へのさらなる取り組みを求める②現在、従来の回覧板を利用しているが、電子回覧板の利用も検討しているので、より安価な電子回覧板の提供や自治会 DX に関する情報提供を求める③市役所 HP にアップロードされている書式の中には古いものがあるので、早急に対応していただきたい。④諏訪原城応援隊など、ボランティアで観光を支えてくださる方々がいる。そうした方々がスムーズに活動で

きる支援を島田市観光協会に求める。

- A 行政 DX に関してはペーパーレス・情報の一元化等も含め、現在取り組んでいる最中である。マイナンバーカードの更なる普及も併せ、一步一步取り組んでいく。また自治会 DX に関しては、議会としても先進事例を参考に情報発信等進めていきたい。

- ・ Q 島田市議会の映像配信をもう少し早くアップロードしてほしい。
- A 今後の課題として取り組んでいく。

## (2) 意見及び情報の交換について

### 今回のテーマ「ごみの減量化」

※冒頭、テーマの設定理由を述べるとともに、配布資料の説明をする。

### 自由な意見交換・質疑

- ・ Q 島田市のごみ排出量に関して、環境省と島田市では出す数値が違う理由は？
- A 表記の仕方が違うが、双方が出す数値は一致していることをご説明し、ご理解いただいた。
  
- ・ Q ごみの有料化をしている地方公共団体は現在あるか？
- A 国内、県内でも多数ある。先日の視察した地方公共団体では、ごみ袋の経費に 60 円を上乗せしていた。ただ、お金を取ることが目的ではなく、ごみの減量化が目的であることを重ねて申し上げる。
  
- ・ Q 以前と比べ山などへの不法投棄は減ったが、ごみ有料化はその（不法投棄）引き金になることを心配する。そうならないためのシステムづくりもしっかり取り組んでいただきたい。また現在、島田市では（近隣市と比べ）選別もなくごみ袋に入れれば、様々な種類のごみを棄てられるが、これでいいのか疑問を感じる。
- A ご意見を承るとともに、ごみ有料化は、市当局側が現在考える選択肢の一つにすぎないことを改めて伝える。

(司会) ごみの有料化は今後一つの選択肢として考えられ、効果として、ごみの減量化や(ごみの減量化に)積極的に取り組んでいる方とそうでない方がいた場合、応分の負担となることが期待される。ただ(ごみ有料化は)一足飛びに取り組むべきものではなく、やるべきことをまず行うことが大前提であるので、そうした中で様々なご意見をいただきたい。

(市民)・島田市における、ごみの年間排出量が 30,000 t 付近で高止まりしている。

市民の意識を変えることが、ごみを有料化するよりも先である。

- ・新聞・雑誌等は燃えるごみで出すのではなく、古紙回収をしてリサイクルするべきである。従って、燃えるごみの選別をさらに徹底すべきと考える。

- ・島田市の焼却場は高性能なので、市民は多くのゴミを出す。そうすることで燃料費等コストも上がる。まずは、市民の意識を変えるべきと考える。
- ・以前、農家は田んぼでゴミを燃やしていた。現在は周辺の住宅環境事情もあり、なかなか燃やすことはできないが、(自然環境に配慮する中で) こうしたことも選択肢として取り上げていただきたい。

### (3) 市等への要望事項

- ・ Q 当町内会ではこれまで、古紙や段ボール回収作業を老人会が担当してきてくれたが、この4月から体力的なこともあり、その役目を降りると申し出があったため、今後は町内会として取り組んでいくこととなった。現在は回収日や回収場所等が明確に決まっていないため、今後は回収体制を確立していく。  
A 人材的な課題と回収場所等の課題を承った。高齢化社会が進む中で、回収場所に運べない高齢者も今以上に増加することが予測される。こうした対応策を考えていかななくてはならないと受け止めた。
- ・ Q 生ごみは水分が70%と多く、これを焼却場で燃やすことは無駄も発生する。生ごみは堆肥化することができるので、市としてしっかり取り組んでいただきたい。  
A 市では、生ごみの減量を図るため、生ごみ処理容器等を購入する者に対して、補助金を交付している。改めて、生ごみの堆肥化等を推進していくべきと考える。

## 6 まとめ(所見)

お忙しい中ご参加いただいた市民から、観光・DX・ゴミに関するテーマを中心に様々なご意見をいただきました。議会としても、こうした貴重なご意見をしっかりと捉え、今後に繋げていく。